

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 4月 28 日

事業所名 ブロッサムジュニア春日新田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	2	職員の配置数は適切である	4	2	・教室内で必要な人員配置を随時行っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	・階段がありますが、危険のないようにしています。	・十分な療育ができる人数でない時もありました。 ・職員の研修会を確保し、専門性を高めていくようにします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	-	・利用後は掃除、消毒、換気をしている。	・手指の消毒をし、感染予防対策を行います。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	・業務の引継ぎを毎朝行い、前日の振り返りをし、改善に努めている。	・毎月職員会議でPDCAサイクルの振り返りをしている。今後は全職員が支援計画の実現に向けてように細目に見直し、実現していくようにしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	-	・保護者アンケートを本年度実施し、改善につとめていきます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	-	・毎年、自己評価と保護者アンケートを実施し、改善に努めていくようにしていきます。	・評価結果をホームページにて公開予定していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	-		・第三者より評価を受け、改善に努めていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	・日時を決め研修機会を確保しています。	・全職員が研修機会を確保出来る日にち、時間を考慮していきます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	-	・保護者と面談を行い、子どもの状況を伝えています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	-		・計画の見直しを全職員で確認し、保護者にわかりやすいよう説明をしています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	-		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	・職員が交代し立案している。	・個別支援計画の重点目標に沿うようにしていきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	-		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	-		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	-	・毎朝引継ぎを行い、内容や役割の確認をしています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	-		
関係機関や保護者	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	-		
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	-	・子どもの状況を常に職員全員で把握しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	-		・相談員や保育園から情報を提供して頂き、発達支援に努めています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	-		地域の保育園から情報提供しをして頂き、連携による支援を行っています。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	-		・
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	-		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
との連携関係機関や保護者との連携	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	-		
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	-	・センター職員や相談員に療育内容を見て頂き、助言を頂いている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	-	6		・コロナが落ち着き外部との交流が出来そうになったら企画していこうと思っています。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	-	6		・地域に事業所を知っていただくように情報提供していく。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	-	・送迎の際に支援内容を伝えていきます。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2	・心理士による面談を行っています。	・ペアレント・トレーニングを実施できるようにしていきます。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	-	・契約時に管理者から説明をしています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	-		・発達支援・家族支援・地域支援の項目別に支援内容を設定しています。よりわかりやすい説明に努めます。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	-	・職員との面談を行っています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	-	・茶話会を開催し交流の場を設けています。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	-		・いつでも相談できる体制ではありませんが、保護者の皆様に周知されるように努めます。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	-		
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	6	-		・契約時に同意書を頂き、適切に管理しています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	-		・わかりやすい掲示の工夫をしておりますが、子どもに伝わるよう改善していきます。
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6		・地域の方に事業所を知って頂くようにしていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	-		・ブロッサム全体でマニュアル作成しています。職員、保護者の周知・説明が不足しないようにしていきます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	-	・階段を下りてからの避難訓練を行っています。	・お子さんの状況に合わせ対応できるようにしていきます。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	-	・契約時に保護者より情報を提供して頂く。	・予防接種までの把握をしていないので契約・面談の際に確認していくようにしていきます。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	-		
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	-	・事例を職員で収集・共有・対策を練る。	・各目線で危険な場所を確認していくようにしていきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	-	・職員の研修を療育の空いている時間に行う。	・外部から療育現場をみて頂くようにしていきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	-	・契約時に管理者より説明しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。